

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」 県北地区の取組を振り返って

県北教育事務所

祝 県優秀作品

【絆部門】

最優秀賞 つくりたい きれいなちまき 母さんと
子に伝え 三角ちまき 祖母の技

【ふるさと部門】

優秀賞 釣り竿の 先に広がる 青い海
幾千の 涙の先に 子の笑顔
佳作 うまいもも えらぶてんさい カブトムシ
桃の出来 今年も確認 祖父と孫

今年の応募作品の傾向

- ・ 久しぶりのお祭りや花火大会に行くことができた喜び
- ・ 福島のおいしい野菜や果物をとおしての家族の交流
- ・ リモートやライン、ゲームでの話題
- ・ コロナ禍ならではのマスク生活
- ・ 部活動への思い
- ・ 震災の経験や思いを大切にしようとする気持ち



今年は、子ども達とお父さんやおじいさんとの
触れ合いを表した作品が多かったようです。



入賞者の感想

- ・ 思っていたことを素直に言葉に表現することができた（子）
- ・ やって見たら難しかったけど、よかった（子）
- ・ 思い出を文字で表現するいい機会になった（親）
- ・ 家族の記念になった（親）
- ・ 自分の中学校時代もそうだったなと思い出した（親）
- ・ 子どもと震災について話し合うことができた（親）

自分の気持ちを17字で表現し文字にすることで、その時の思い出に改めて浸ることができたようです！



今年度は、5, 445点の作品が寄せられました。

（域内小学校の**参加率は100%**でした！）

県北地区第一次審査を通過した作品271点を作品集にまとめましたので、ぜひご覧ください。



来年度のご参加もお待ちしております！